

# 令和5年度 第3回白井市在宅医療・ 介護連携、認知症対策推進協議会

2024.2.1



## **<目次>**

**(1) 課題別ワーキングの取組み報告**

**(2) 在宅医療後方支援制度の実績報告**

**(3) 徘徊保護高齢者への対応実績報告**

**(4) 認知症初期集中支援チーム事例集について**

**(5) 次年度の事業実施方針について**

**(6) 意見交換**

**「入退院時の医療と介護の連携について感じること」**

# 感染症の取り組み

## 感染症対策研修会の開催

「インフルエンザ、ノロウイルス、疥癬などの  
感染症対策について」

# 感染症対策研修会

～インフルエンザ、ノロウイルス、疥癬などの感染症対策について～

**日時：令和5年11月29日（木）**

**午後6時から**

**講師：北総白井病院**

**感染症管理認定看護師 植草しのぶ氏**

**対象：市内の介護通所事業所、介護訪問事業所、  
介護施設のスタッフ**

**参加者：25名**

**（介護施設：6か所 訪問介護事業所：2か所）**

(グループワークの内容)

## どのような吐物処理の物品を準備しているか 吐物処理の方法について

- ・施設では、マニュアルが作成されているところがほとんどであった。用意している物品等はだいたい同じ物であった。すぐに持ち出しができるようにセットしておきたいなどの意見も出ていた。
- ・処理の方法については、それぞれの方法で行っていたが、必ず2人で行う、使い捨てのものを使うなど、事業所や施設での処理方法の違いがあった。
- ・講師より、施設では吐物がカーテンなどに飛び散っていることがあるので、カーテンの清潔面も考えてほしいとの話しもあり参考になったようだ。

# アンケートより

## 講義の感想

- ・施設内の感染対策を見直すきっかけになった。
- ・普段詳細に対処方法を考えていなかったため、訪問介護のケアの際に活かせる情報がたくさんあった。
- ・きちんと物品などを用意することで感染を広げない方法がとれることを知った。
- ・塩素系漂白剤調整剤の作り方などが参考になった。

# アンケートより

## グループワークの感想

- ・他施設のことを知る機会が少ないため、施設の対策を生  
の声で聞けて有意義であった。
- ・違う職種の方の意見や他施設の現場を知ることができて  
よかった。
- ・他施設を参考にして、吐物処理物品等、まとめておき、  
すぐに持ち運びできるように用意しておこうと思った。
- ・訪問介護ではご自宅にあるものでやらなくていけない。  
今まではそのような場にあたったことがないが、今後どの  
ように対応していくことが必要かが見えてきた。

# 1. 課題別ワーキングの取組み報告

# 令和5年度 検討の体制

在宅医療・介護連携、  
認知症対策推進協議会

病院長会議  
(在宅医療後方支援体制)

入退院時連携  
WG

認知症支援  
体制WG

随時  
ICT普及啓発

# 課題別ワーキングの取り組み

- ① 認知症支援体制ワーキング
- ② 入退院時連携ワーキング
- ③ その他 ICT普及啓発

# 認知症支援体制ワーキング

開催日	内容
第1回 6月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"><li>●市の認知症施策についての紹介</li><li>●認知症の人や家族の支援について必要と思う取り組み</li><li>●認知症ガイドブックについて、見直しの検討</li></ul>
第2回 7月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"><li>●認知症ガイドブックの見直し 前回意見をもらい直したところを確認。</li></ul>
第3回 9月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"><li>●事前に修正したガイドブックを郵送し、最終で訂正したほうがよいところを確認。最終の完成に向けて話し合い。</li></ul>

認知症ガイド  
ブック完成

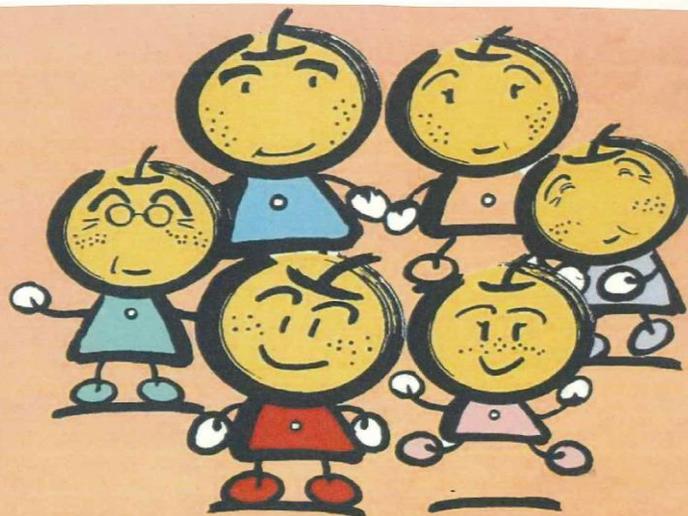
改訂案

白井市

2023  
年度版

# 認知症ガイドブック

市内相談先・医療機関イラストMAP



白井市地域包括ケア推進係

〒270-1492 千葉県白井市復1123番地

TEL 047-497-3484 FAX 047-491-3551

開庁時間：平日午前8時30分から午後5時15分まで  
(土日祝日、12月29日から1月3日までを除く)

白井市 × 株式会社 サイネックス

# 入退院時連携ワーキング

## 【今年度の検討事項】

開催日：第1回 1/25 第2回 2月下旬～3月予定

●市内居宅介護事業所（16か所）、地域包括支援センター（3か所）計28名と千葉白井病院、白井聖仁会病院、北総白井病院の相談員に入退院時連携に関するアンケート調査実施

●アンケートをまとめたものを整理し、ケアマネ、病院の相談員、各地域包括支援センターの職員とともに、課題や今後の方向性について話しあった。

## 【検討メンバー】

市内居宅介護事業所（6か所）、市内3病院相談員、地域包括支援センター（3か所）

## 【取り組みの内容】

### ●入退院時連携に関するアンケートを実施

#### 内容

入退院時連携ルールBOOKの活用の有無、利用者が入院した時に、病院へ千葉県地域生活連携シート（入院時）を提出しているか、退院時に、病院から千葉県地域生活連携シート（退院時）を受け取っているか、入退院時の連携についての課題等

### ●1/25 第1回ワーキングを実施

#### 内容

アンケート調査の結果を報告、病院側、ケアマネ側からの入退院時連携に関する課題等をまとめ、今後の取り組みについて話しあった。今後においては、入退院時連携ルールBOOKの更新を行いお互いに使いやすいものに修正していく予定。  
第2回にはルールBOOKを更新していく予定。

# 入退院時連携に関するアンケート調査結果

1 令和元年9月に作成した入退院時における医療と介護連携ルールBOOKを活用したことがありますか。

ある	12人
----	-----

よく活用する部分はどこですか

- ・入退院フローチャート、近隣病院の詳細一覧。
- ・入院時の情報提供連絡票、近隣病院連携方法(白井・印西・船橋N01)利用者の入院時にとっても役立っている。
- ・入院時の千葉県地域生活連携シート・入院時の情報提供連絡票
- ・P4(2)入院前にケアマネージャーがいない場合、不明な場合を活用した

ない	16人
----	-----

ルールBOOKを活用していない理由は何ですか。

- ・ルールBOOKを持っていない、存在を知らなかった。
- ・ケアマネの動きはルールBOOKに沿って、確認する機会が少なかった。入院時の加算が日数によって異なるため、入院の連絡を受けると慌てて、連絡を受けると慌てて連絡を取り、送付することが多いため。
- ・すでに活用して作成済みの利用者ごとに連携シート提出用のひな型があり打ち込みをして提出しているため。
- ・包括もしくは病院より連絡、連携シートの送り先など確認しており、ルールBOOKを確認し進めてはいない。

2 担当している利用者が入院した時に病院へ「千葉県地域生活連携シート（入院時）」を提出していますか。

必ず提出している	8人
時々（間に合えば）提出している	12人
提出していない	8人

#### 提出していない理由

- ・入院の事実を後から知ることがある。
- ・連携室へ連絡し電話でのやり取りが多い。
- ・提出する必要があることを知らなかった。求められることもなかった。
- ・ご本人、ご家族から入院連絡が来ないことがあり病院から連絡がきて初めて知るときがあるため遅くの提出になることがある。
- ・必要に応じて提出している。

3 担当している利用者が退院した時に、病院から千葉県地域生活連携シート（退院時）を受け取っていますか。

受け取っている	2人
時々受け取っている	11人
受け取ったことがない	15人

#### 受け取ってない理由

- ・看護サマリー、リハサマリーを依頼し受け取っているため。代わりに千葉県共用地域医療連携パス連携シートの交付の場合もあった。
- ・電話でやり取りしている。
- ・そもそも存在を知らず、病院側から提供されることもないため、「受け取るもの」ということを知らなかった。そのため要求もしなかった。電話でのやり取りがほとんど。

## 5 入退院時の連携や他職種との連携、その他情報共有等についての課題

- ・ サマリーなどで専門用語（医療用語）で書かれていることがあり、解読に時間がかかることがある。
- ・ 退院前カンファが開催されるようになってきているが、カンファが出来ない場合、電話などで情報共有や聞き取りを行うが、病院側の退院後の見立てと本人の意向や希望の食い違いがあり在宅スタート時に大幅な調整が必要なことがある。
- ・ 病院からの入院の連絡はほとんどもらったことがない。家族も連絡し忘れていることも多い。
- ・ 医療連携は積極的に行っており勤務の都合等で遅くなる場合は事前に連絡をいれるようにしている。
- ・ 退院時、サマリーを封書でもらうことが多く紙ベースで保管が大変。データ記録でアプリの活用などで簡単にやりとりができる病院が増えてほしい。
- ・ 退院時の連携がとりやすい病院ととりにくい病院の差が大きいなど・・・

# ICT普及啓発

## 【取り組みの内容】

### 医療・介護関係者へのシステム利用普及啓発

#### ● バイタルリンク活用体験会 1 / 3 1

登録していてほとんど利用をしたことがない事業所、リハ職同行訪問を実施している関係者に実施  
実際のシステムを使ってもらい、バイタルリンクの活用の仕方を体験してもらう。

#### ● アカウント登録発行数

令和5年3月末 81件 → 令和6年1月末 **90件**

## 2.在宅医療後方支援制度の実績報告

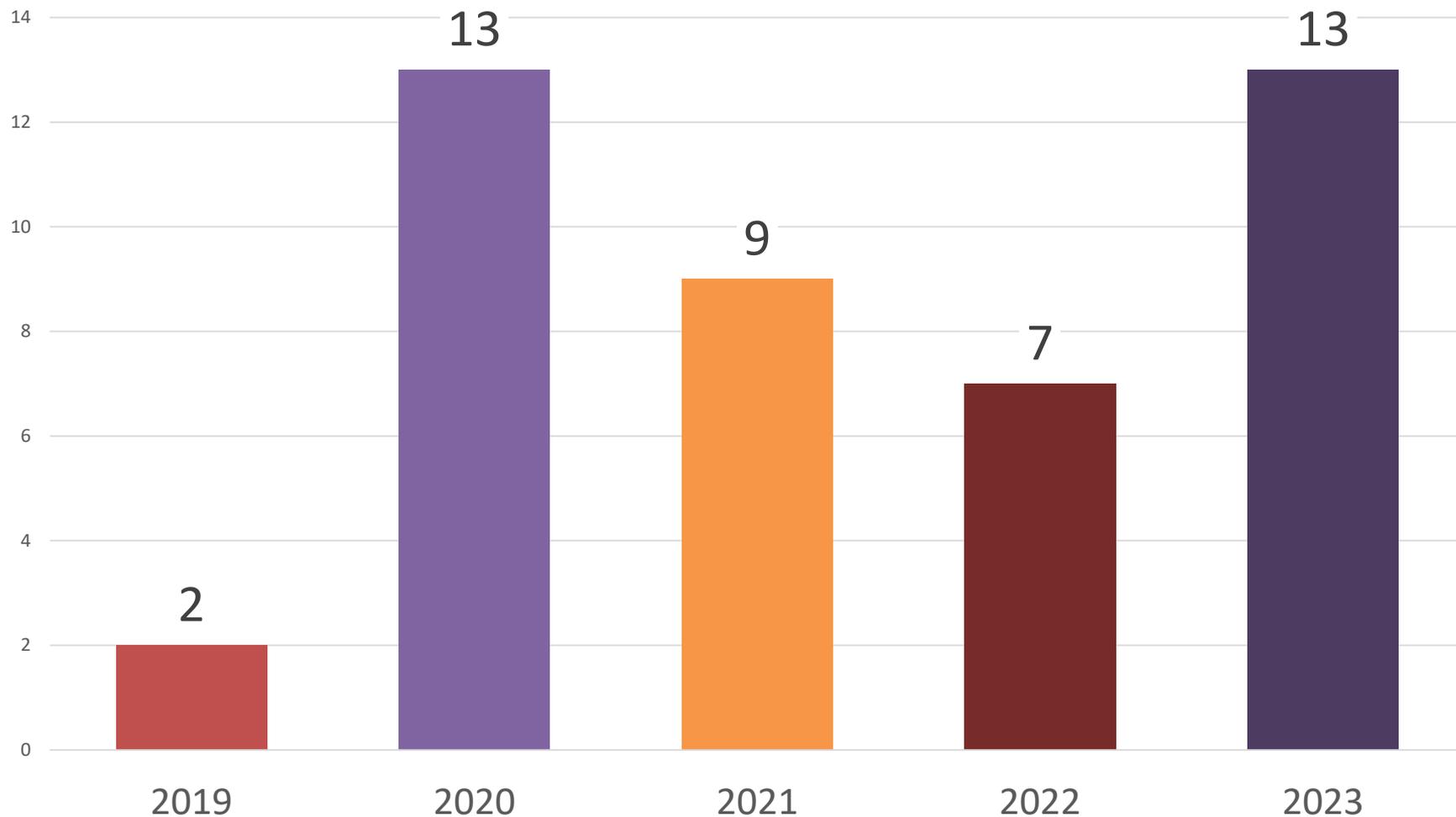
# 在宅医療後方支援制度 登録者および利用者数

(2023年1月～12月末現在)

	白井聖仁会 病院	北総白井 病院	千葉白井 病院
登録 患者数	24		
利用 患者数	1	6	6

# 在宅医療後方支援制度利用患者数の推移

利用患者数(人)



※制度運用開始は2019年4月1日 全ての年度12月末現在の数

## 【白井市在宅医療後方支援制度についての課題等】

- ・市内の3病院それぞれが病床が満床や対応困難な診療科などがあつた際、受け入れができない。
- ・バイタルリンク上に掲載する情報提供が、半年に1回更新することになっているが、医師やスタッフの方の負担になっていないか心配している。しかし、情報があることで大変助かっており、受け入れもスムーズになっている。

# 3. 徘徊保護高齢者への対応実績報告

# 徘徊保護高齢者への対応について

## 【情報提供】

情報提供の方法	令和3年度	令和4年度	令和5年度
千葉県内警察署からの情報提供 (情報提供について家族の同意ありの者) ※R5は12月末時点	8件	23件	22件
SOSネットワーク（防災無線依頼） ※R5は12月末時点	13件	11件	8件

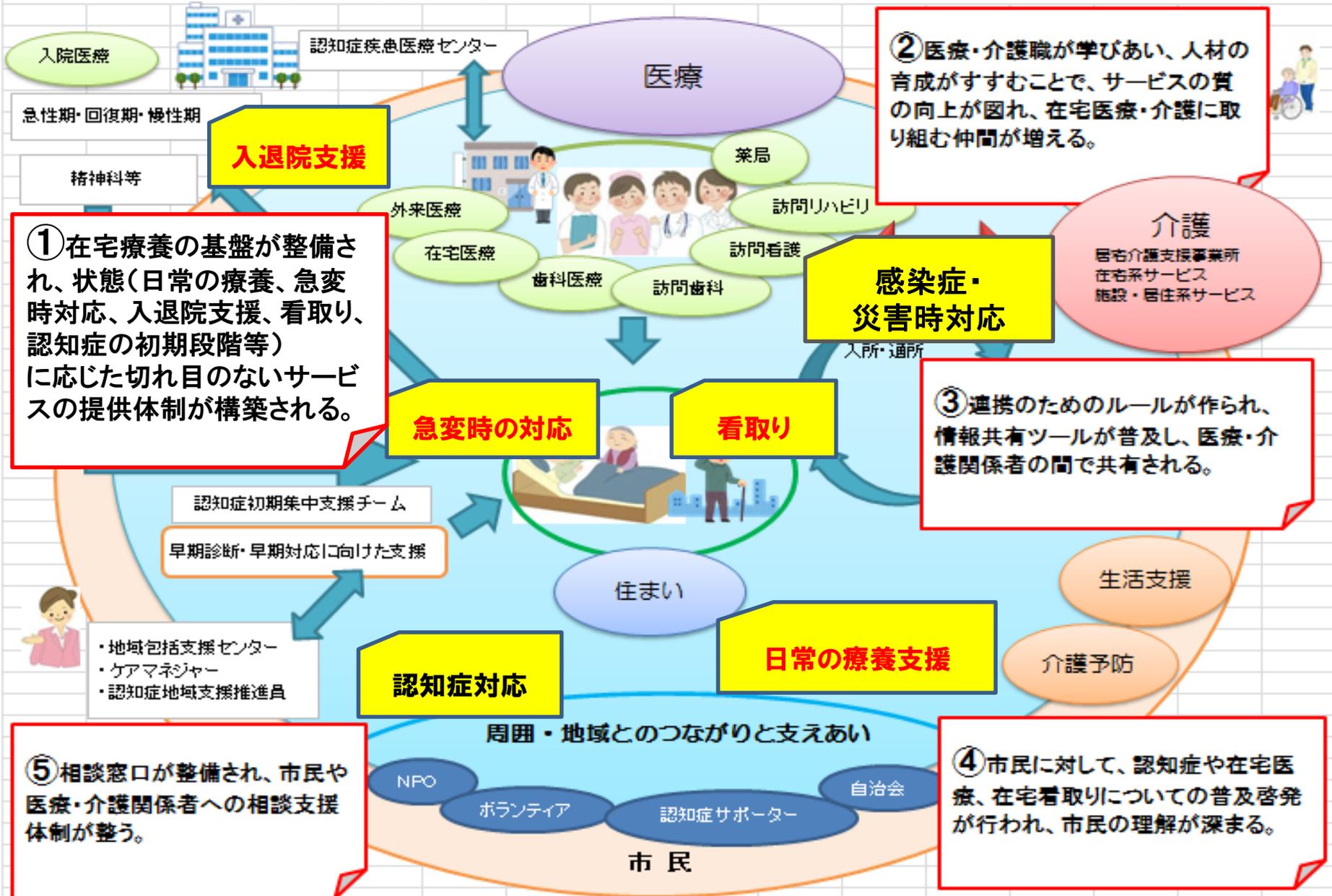
## 【対応結果】 ※支援フローチャートに基づいて対応実施。

対応内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ケアマネあり（情報共有・対応方法を検討、対応を引き継ぐ）	7件	12件	6件
ケアマネなし（各包括へ対応依頼、本人・家族へ連絡・訪問実施、状況に合わせて介護申請・見守り支援等につなぐ）	1件	11件	16件

# 4.認知症初期集中支援チーム事業 事例集について

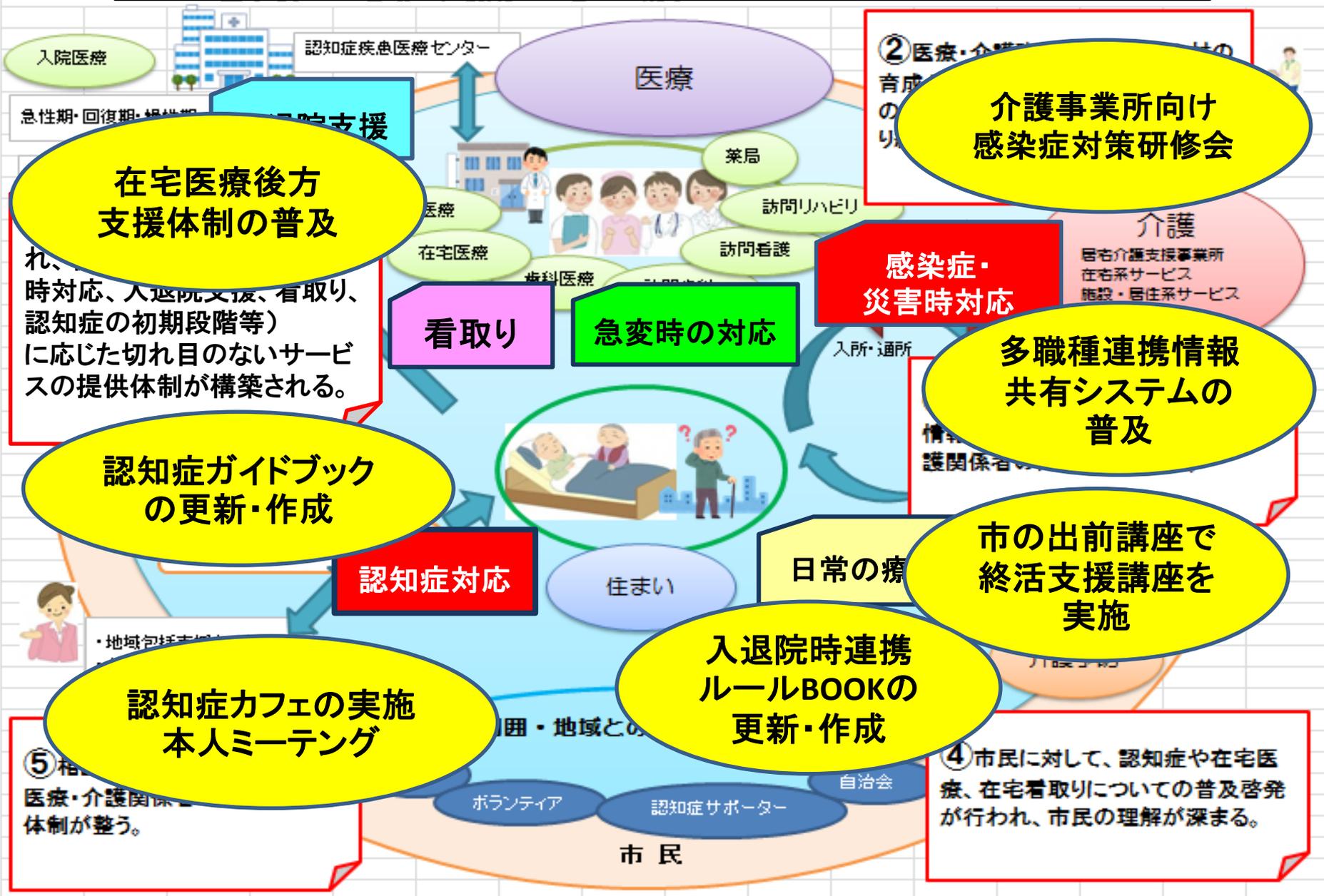
## 5. 令和6年度の事業実施方針について

住み慣れた地域で、最期まで暮らし続けることができるためには・・・



## 白井市の目指す姿（5つの柱）

# 令和5年度の主な実績



# 令和6年度の事業実施方針

日常の療養  
支援

## 在宅医療・介護に関するフォーラムの開催

在宅医療後方支援制度の普及、情報共有の推進、在宅療養への市民理解促進

入退院支援

入退院時連携ルールBook活用の周知

急変時の  
対応

介護事業所向け急変時対応講習会、消防（救急）との意見交換会、救急医療情報キットの普及

看取り

在宅療養者へ対しての看取りへの支援体制の充実  
終活支援ノートやACPについて市民への普及啓発、介護関係者のACPへの理解醸成のための研修会

認知症対応

徘徊模擬訓練の実施、認知症カフェの充実

感染症・  
災害時対応

介護事業所等に対しての感染症対策の周知・啓発  
災害時の在宅療養者への対応検討（関係課、介護事業所）

# 6. 意見交換

下記について委員の皆様からお話を伺いたいと思います。

**「入退院時の医療と介護の連携について感じること」**